

(4) 畑作物共済関係

(引 受)

年 度	畑作物共済再保険区分		組 合 等 数	組 合 員 等 数	引受面積	共 済 金 額	保 険 金 額	徴収保険料	交付金 又は 納入再保険料	手持保険料
	区分	共済目的								
30 年 度	旧制度	H31年産 ばれいしょ		人	a	円	円	円	円	円
	第1区分		1	58	1,487.2	27,654,558	24,889,102			
	第2区分	大 豆	3	77	24,684.7	27,721,439	24,949,293			
	第3区分	さとうきび	3	3,967	528,571.1	4,581,422,298	4,123,280,068			
	計	(延) (実)	7 7	4,102	554,743.0	4,636,798,295	4,173,118,463	98,508,580	30,995,728	129,504,308
30 年 度	新制度	H31年産 ばれいしょ								
	第1区分		4	28	1,059.1	15,207,309	13,686,565			
	計	(延) (実)	4 4	28	1,059.1	15,207,309	13,686,565	525,901	297,989	823,890
元 年 度	旧制度									
	第3区分	さとうきび	3	1,085	239,996.0	2,183,557,458	1,965,201,712			
	計	(延) (実)	3 3	1,085	239,996.0	2,183,557,458	1,965,201,712	48,026,115	17,593,113	65,619,228
元 年 度	新制度									
	第1区分	ばれいしょ	4	74	2,680.6	41,972,486	37,775,204			
	第1区分	大 豆	4	45	14,119.6	16,775,478	15,097,918			
	第1区分	さとうきび	3	2,373	228,939.8	2,064,855,524	1,858,368,889			
	計	(延) (実)	11 8	2,492	245,740.0	2,123,603,488	1,911,242,011	45,496,875	15,082,645	60,579,520

[引受概況]

ばれいしょ：作付の減少等や大規模農家の加入により、引受戸数は12戸の減の74戸（前年比86.0%）、引受面積は1.3haの増の26.8ha（前年比105.3%）となった。
 大 豆：農業経営収入保険への移行や他作物への移行、また、離農などにより、引受戸数は32戸減の45戸（前年比 58.4%）、引受面積は105.7ha減の141.2ha（前年比 57.2%）となった。
 さとうきび：農家の高齢化、離農や他作物への転作、また農業経営収入保への移行により、引受戸数は509戸減少の3,458戸（前年比87.2%）、引受面積は596.4ha減少の4,689.4ha（前年比88.7%）となった。

(被 害)

畑作物共済再保険区分		被 害 組合等数	被 害 組合員等数	共 済 金	保 険 金	共済金／共済金 額
区分	共済目的					
			人	円	円	%
第1区分	ばれいしょ	2	12	2,672,980	2,405,680	6.2
第1区分	大豆	3	10	283,635	255,271	1.7
第1区分	さとうきび	3	991	133,141,635	119,827,470	2.9
計	(延)	8				
	(実)	7	1,013	136,098,250	122,488,421	2.9

(支 払)

畑作物共済再保険区分		支 払 月 日	実 支 払 保 険 金	保 険 金 支 払 財 源					実支払保険金 ／保険金
区分	共済目的			再保険金	手持保険料 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	そ の 他	
		年 月 日から 年 月 日まで	円	円	円	円	円	円	%
第1区分	ばれいしょ	R1. 11. 20	2,405,680		2,405,680			0	100.0
第1区分	大豆	R2. 3. 25	255,271		255,271			0	100.0
第1区分	さとうきび	R1. 8. 9	119,827,470		119,827,470			0	100.0
計			122,488,421	0	122,488,421			0	100.0

〔被害概況〕

ばれいしょ：平成31年1月上旬から2月中旬にかけて寒波が流れ込んだことから、茎葉が損傷し、生育が遅れ、球数の減少や小玉傾向となった。4月上旬から5月下旬にかけての断続的な降雨により土壌が湿潤状態となり、ソウカ病や疫病が一部の圃場で発生した。2月中下旬にかえてイノシシによる食害等が発生した。これらの要因から減収した。

大豆：令和元年8月中旬から11月上旬にかけてシカ、イノシシによる踏み込み、食害等が発生した。9月中旬から10月下旬にかけて、カメムシによる吸汁被害により子実肥大が阻害され、不稔莢、萎縮粒、変形粒等の被害粒も発生した。

さとうきび：平成29年10月から平成30年9月までの台風により倒伏、折損、潮風害が発生した。平成29年9月下旬から平成30年6月中旬にかけての長雨により発芽不能が発生した。平成29年10月中旬から平成30年10月中旬にかけてメイチュウ等の加害により芯枯れが発生した。平成30年3月中旬から平成31年3月下旬にかけて熊毛ではシカによる新韃部の食害が発生し、南大島ではイノシシによる茎葉の食害および踏み倒しが発生した。平成30年1月上旬から平成30年2月下旬までの寒害により発芽不能や、生育遅れが発生した。H30年11月中旬に南大島で火災が発生し、圃場が全焼した。これらの要因から減収した。

(損害防止)

県農業開発総合センター（病虫害防除室）からの各種病虫害発生予察・注意報等の情報伝達
・注意報等の情報伝達